

はじめに

この本は、頭がいい人、仕事ができる人が、どんな学び方をしているのか？
そして、そういう人を育てるにはどうしたらよいのか？
について紹介しています。

この本で伝えたいことは、次のことです。

頭がいい人、仕事ができる人 Ⅱ 学び上手

学ぶことが上手い人は、頭が良く、仕事もできて、成果を出している。

では、そんな人は、どのような学び方をしているのでしょうか？

そして、どうやって成果に結び付けているのでしょうか？

これらを明らかにしたのが、この本です。

すでに成果を出している学び上手な人であれば、自分がやっていることがなぜ正しいのか、その理由がハッキリと分かるでしょう。

逆に、「仕事が上手くいっていない」「なかなか成果に結び付けられない」という人であれば、「あ、こういう風に考えればいいんだ！」「こうやればいいんだ！」という多くの気づきやヒントが得られることでしょう。

この本は、3部構成になっています。

第1部では、頭がいい人、仕事ができる人が、どのように学んでいるのか、そしてそれをどのように成果に結び付けているのかについて見ていきます。

続く第2部では、ちよつと趣を変えて、12のショートストーリー（短い物語）と共に、学び方について見ていきます。様々な登場人物、カエルや子豚たちの話を通して、学び方について考えていきます。

最後の第3部は、頭がいい人、仕事ができる人を、どうやって育てていけばよいのか、教える側の視点に立って見ていきます。会社で部下を持つマネージャーや、後輩を育成するリーダークラスの方が対象になっていますが、まだ教える立場にない人であっても、「こうやって、自分は育っていくんだな」という今後の自身の成長イメージが見えてくるような内容になっています。

この本が、「頭がいい人、仕事ができる人」として、さらに活躍する皆さんのお役に少しでも立てば幸いです。

それでは、早速「頭がいい人、仕事ができる人の学び方」について見ていきましょう。